

第4回学都松本フォーラム「語り場」の様子

H27.9.6（日）あがたの森文化会館

学都松本推進協議会から今年度の学都松本フォーラムの語り場（分科会）で「子ども分科会」を開催するにあたって、まつもと子ども未来委員会に企画・運営の相談がありました。

子ども未来委員会でみんなの意見を聞いたところ、「ぜひ参加したい」ということで、当日の分科会運営をすることとなりました。

話し合いのテーマは「地球温暖化と環境」として、3つのグループに分かれて話し合いをしました。

参加者は、子ども未来委員会の委員 17 人、大人参加者 11 人で合計 28 人でした。

話し合いの方法は、

- ① どんなことが問題になっているか
どんなふうになればいいか
- ② そのためにはどうしたらいいか
- ③ 自分たちができること
大人や行政にやってほしいこと

を話し合い、模造紙に整理して、各グループから報告しました。



グループごとの話し合いの内容

1 班

どんなことが問題 どうなればいい	そのためには何が必要か	子どもができること
		大人にやってもらいたいこと
		行政にやってもらいたいこと
・電気の無駄遣い ・ゴミが多い ・気候変動 ・森林伐採がある ・大気汚染がある ・車の排気ガスが多い ・農作物に異変がある	・節電をする ・水を大切に使う ・ゴミは分別する ・車をなるべく使わない ・温暖化が進んだ時の勉強をする ・便利な暮らしを見直す ・電気の使用制限をする ・3 Rを心がける ・ゴミ袋の数を制限する ・環境について考える人を増やす ・森林伐採をしない	・ゴミを減らす（ゴミ箱に捨てる、持ち帰る） ・3 Rを実践する ・節電、節水をする
		・環境について考える時間を増やす ・短距離の移動に車を使わない ・携帯やスマホ利用を控え節電する
		・ゴミ箱を増やして設置する ・自然を残すようにする ・電気の使用を制限する ・温暖化が進むとどうなるのか模型などを作って説明する

2 班

どんなことが問題 どうなればいい	そのためには何が必要か	子どもができること
		大人にやってもらいたいこと
		行政にやってもらいたいこと
・工場を減らしていく ・オゾン層を守る ・火力発電をやめる ・森林伐採をやめる ・酸性雨が降る ・北極の氷が溶ける ・牛のメタンガス ・自然災害が多い ・原子力発電が問題 ・ゴミの分別 ・人口が多い ・海面が上昇している ・公害が多い ・CO₂を減らす ・異常気象	・発電は風力、水力、太陽光を活用する ・自家発電を活用する ・木を多く植える ・シャープペンシルを使う ・ゴミの分別をしっかりとる ・黒板、チョークを使わない ・「もったいない」精神を増やす ・服を多く買わない ・ポイ捨てをしない	・「もったいない」精神をもつ ・木を植える ・服を少なくする ・ゴミは分別する ・ポイ捨てをしない
		・「もったいない」精神をもつ ・木を植える ・服を少なくする ・ゴミは分別する ・ポイ捨てをしない ・自家発電を活用する
		・黒板からホワイトボード ・工場を減らしていく ・太陽光、風力、水力発電を活用 ・日本の技術を他の国へ伝える ・「もったいない」精神を広める ・リサイクル施設をつくる

どんなことが問題 どうなればいい	そのためには何が必要か	子どもができること
		大人にやってもらいたいこと
		行政にやってもらいたいこと
・極端な気象変動（海面上昇、ゲリラ豪雨、豪雪、真夏日が続くなど） ・自然災害の多発 ・生態系の変化（南の地方の生物が北上、山の動物が里にくる、気温の変化で植物にも異変がある）	・リサイクルを活用してゴミを減らす ・近くの移動は車を使わない ・環境保護の勉強をする ・チョークを使わない ・木をたくさん植える ・食べ物を大切に作る ・冷房をなるべく使わない ・打ち水をする ・早寝早起きしてなるべく電気を使わない	・寒い時は運動する ・暑い時はうちわを使う ・無駄なものを買わない ・紙を大事にする ・着るものを大事にする ・打ち水をする ・早寝早起き
		・ゴミを増やさないようにリサイクルする ・電気の無駄使いを減らす ・打ち水をする ・なるべく車を使わない ・早寝早起き
		・KidsISO14001 を学校で取り入れる ・熱中症を防ぐために外に水飲み場をつくる ・木をたくさん植える

大人の参加者の感想

- ・自分が子どもの頃は気温が30度を超える日もなかったが、今は違う。温暖化が進んでいるので、昔を思い出して自然を増やしていくことなどが大切だと感じた。
- ・子どもたちが真剣に考えていることがすごい。使えなくなった食器をリユース、リサイクルしている団体もある。一人一人ができることをやっていくことが大事。
- ・熊や鹿が里に来て被害を受けることが増えている。山に自然を取り戻していくことが必要。みんながいろいろ考えていることが分かった。
- ・自分も普段は自動車で移動しているので、考えてみようと思った。みんなから難しい言葉が出て、こんなに真剣に考えていると分かって頼もしく感じた。
- ・みんなが役割を持って勉強して参加していた。環境や温暖化、いろんな変化があるが、一番変わったのは人間だ。ミハエルエンデの話で、「水を汲みに行くのに30分、帰りに1時間かかるところに住んでいた人が、「水場の近くに引っ越せばいいのに」と言われたとき、「便利さと引き換えに失うものがあるから、ここに暮らす。」というものがある。今の人間は便利さと引き換えに多くの物を失っているのではないか。
- ・環境の問題は大きいが自分でできることをやる、続けることが大事だと思う。通勤に自動車を使わないようにしているが、今日も雨の中片道10キロを来た。

子どもたちの感想

- ・環境のことをみんなで話し合っ、とても勉強になった。
- ・自転車は環境にいいものだ、と改めて感じた。自分もそうしていきたい。

- ・普段は子どもだけで話し合いをしていたが、大人の意見を聞けてよかった。
- ・昔の話などをしてくれて昔の生活を知った。
- ・できることをやっていくことが大事だと思った。

まつもと子ども未来委員会代表のまとめのことば

子ども参加で自分たちにできることを考えてみた。3班に分かれていろんな意見を出してもらった。どの班もできることをやっていこうというところ、例えばC O 2を減らしていこうなど、一致していたと思う。やるべきことは困難なことが多いかもしれないが、この場にいる人だけでなく、多くの人と問題を共有していきたい。自分たちだけでなく周りの人を巻き込んで、この問題を考えていきたいと思った。